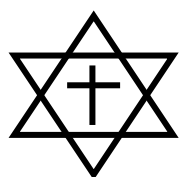


THE
THREEFOLD
NATURE
OF
MAN

人間の三重構造
第1巻



B. R. ヒックス

The Threefold Nature
Of Man

人間の三重構造

第1巻

B. R. ヒックス



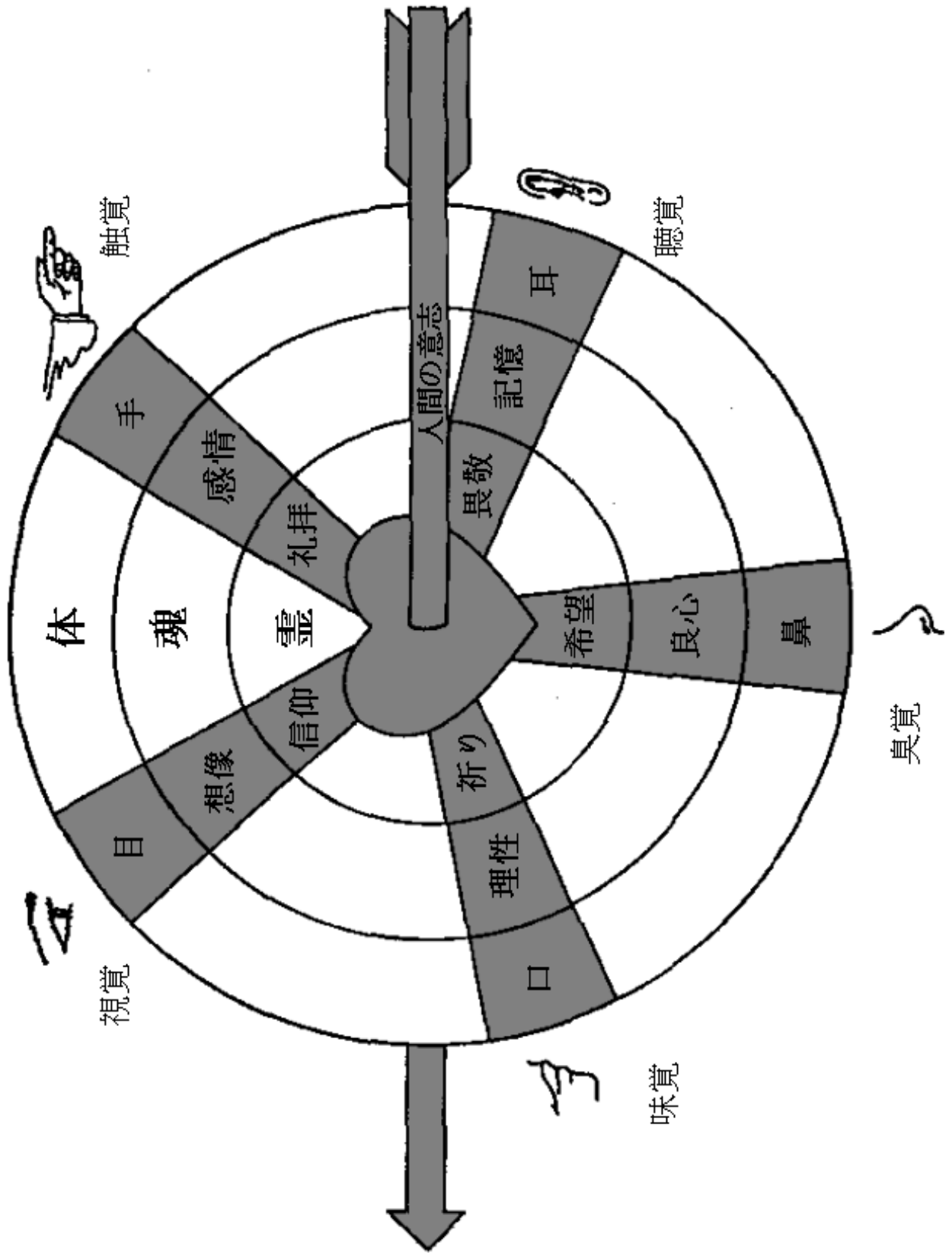
Christ Gospel Churches Int'l., Inc.

P.O.Box 786

Jeffersonville, Indiana 47131-0786

目 次

章		ページ
第Ⅰ部		
第1章	体の5つの感覚……………	13
第Ⅱ部		
第2章	魂の視覚 — 想像……………	27
第3章	魂の味覚 — 理性……………	45
第4章	魂の臭覚 — 良心……………	53
第5章	魂の聴覚 — 記憶……………	67
第6章	魂の触覚 — 感情……………	81
第Ⅲ部		
第7章	霊の視覚 — 信仰……………	99
第8章	霊の味覚 — 祈り……………	117
第9章	霊の臭覚 — 希望……………	129
第10章	霊の聴覚 — 畏敬……………	149
第11章	霊の触覚 — 礼拝……………	169



前書き

ある人々は、科学を研究することによって、人間が現在の地位を獲得するようになった過程を継続的に調べています。別の人々は、霊について研究することによって、人間の死後の行き先をつきとめようとしています。しかし、このような知識の探求は、神のみことばを見さえすれば、近道をすることができます。そこには、人間の起源と終わりについての明快な記述があります。

人間は、神の創造物の中で最高のものです。人間の創造の偉大さに比べれば、他の創造物は、それほど重要ではありません。人間の知性、良心、愛、神を知る知識、美しいものを認識する力、自らの意志に基づいて行動する力は、栄光に満ちた特権です。私たち人間は、まさに、奇跡の中の奇跡、神の偉大な計り知れない神秘的なものです。

この人間の三重構造についての学びの中では、神によって創造された人間の性質について、詳細に説明することに全力を尽くします。すなわち、人間は、始めには完全であったこと、そこから墮落したこと、それが人間の社会全体に対する伝染性の邪悪な毒となったこと、最後に主イエス・キリストによって回復されたことです。

人間は、車輪のように造られています。人間の心はハブであり、五感は、スポークであり、意志は、車軸として全体を回転させたり、方向付けたりします。人間のこの車輪の性質については、ヤコブ書の3章6節で見ることができます。

舌は火であり、不義の世界です。舌は私たちの器官の一つですが、からだ全体を汚し、人生の車輪^{訳注}を焼き、そしてゲヘナの火によって焼かれます。

ギリシャ語の口に当たる言葉は、車輪であり、この節は、正しくは「車輪を焼き」と

解釈することができます。明らかに、木や草や花でできた自然界が焼かれるのではなく、汚れた人間の性質の車輪全体が、焼かれるのです。私たち人間の車輪は、人間の意志という車軸によって回転し、動機付けられています。ですから、エデンの園で、人間の車輪の車軸、つまり意志に、何が起きたかについて正確に知ることは、非常に重要なことです。

神ご自身が、三重構造の存在であり、ご自身を父とみことばと聖霊という三通りに啓示されています。従って、神が、人間をご自分の姿と性質に似せて創造されたときに、体と魂と霊の三重構造の存在として創造されたのです。

神のことは生きていて、力があり、両刃の剣よりも鋭く、たましいと霊、関節と骨髄の分かれ目さえも刺し通し、心のいろいろな考えやはかりごとを判別することができます。(ヘブル 4:12)

神のみことばには、魂と霊、関節と骨髄を分ける力があります。神のみことばは、心の中の考えやはかりごとを判別し、理解し、判断することができます。神のみことばには、人間の霊と魂と体を分解する力があるのです。

神のみことばは、すばやいのです。すなわち、生きており、人間の良心をとらえ、人間の心まで切り開き、慰め、魂の傷をくるんでくださることにおいて、有効に働くのです。神のみことばは、自然界で、最も速い光よりもすばやいのです。

神のみことばは、力があります。すなわち、人間の三重構造の中にある肉と悪魔の砦を打ち壊すのに、十分な力があるのです。

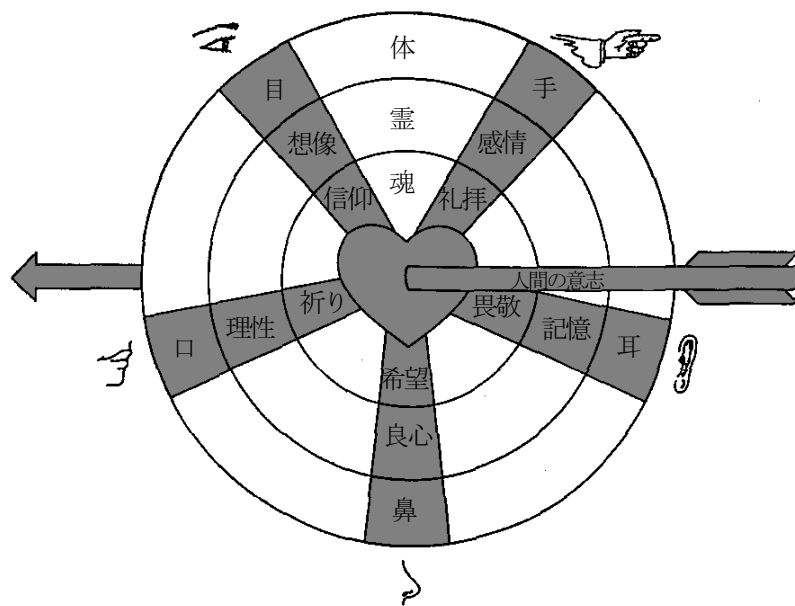
神のみことばは、両刃の剣よりも鋭い。つまり、両方向を切り裂きます。それは、どんな剣も入っていけないところまで入ることができます。より危険な切開を行い、魂と霊を切り分けることができます。それは、高慢な魂をへりくだらせます。よこしまな霊を柔和で従順にします。魂の奥深くに根を張り、巣くっている罪深い習慣を、するどい刃で切り取ります。この刃は、悟りから無知を、意志から反抗を、心の中から神に対す

訳注 キング・ジェームズ訳では、「口」となっている。

る敵意を切り取ります。この刃は、関節と骨髄、体の中で最も内密な部分を切り分けます。この刃は、体の肉欲を切り取ることができます。この刃は、心の中の一番深いところの考えや計画やはかりごとを判別することができます。この刃は、多くの考えやその墮落した目的を明らかにします。神のみことばの剣は、内側にある人間の三重構造を明らかにし、三重の墮落した性質の深みを見ることができるようにします。

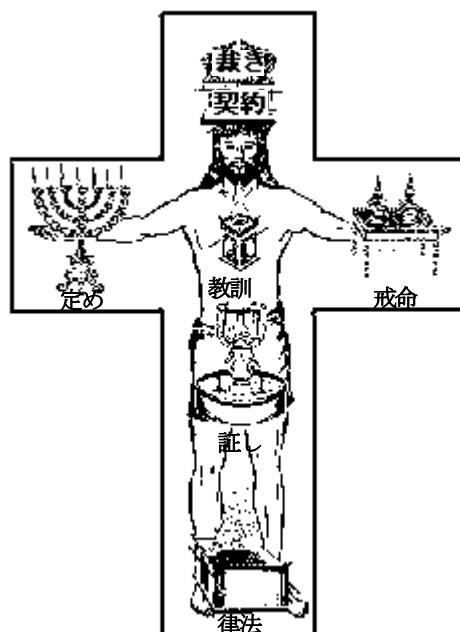
人間の三重の構造は、第一テサロニケ 5 : 23 でも確認されています。

平和の神ご自身が、あなたがたを全く聖なるものとしてくださいますように。主イエス・キリストの来臨のとき、責められるところのないように、あなたがたの霊、たましい、からだが完全に守られますように。(第一テサロニケ 5:23)



人間は、車輪のように造られているので、私たちの人間の性質についての学びにおいては、車輪のたとえが用いられます。十字架の4つのポイントによって表される真理の身丈も頻繁に用いられます。それは、モーセの幕屋の中に啓示されているイエス・キリストの完全な身丈を表しているからです。十字架の4つのポイントによって表される真理の身丈は、私たちが、イエス・キリストにあって、霊的に成長していくにつれてわかってくる霊的な体験を表しています。神は、偉大な教師です。神は、そのみことばの中で、神聖な真理を表現するために、図や型や影やたとえや例話を用いられます。

例えば、イスラエルの民が、荒野で、きよい神に近づき、交わりを持つための方法を必要としていたときに、主は、神の御子、主イエス・キリストのたとえであり、影であり、ひな型であるモーセの幕屋を与えられました。



この幕屋はその当時のための比喻です。それに従って、ささげ物といけにえとがささげられますが、それらは礼拝する者の良心を完全にすることはできません。(ヘブル9:9)

モーセの幕屋として知られている最初の幕屋は、より偉大で、完全な第二の幕屋であるイエス・キリストの身丈と働きの時のための影にすぎませんでした。キリストは、その明るさと栄光によって、影を追い出し、真理を、真昼の太陽の光の内に照り輝かし、啓示させました。モーセの幕屋は、型、すなわちイエス・キリストの身丈の外側の輪郭でした。それゆえに、神は、モーセに、山で教えた型に従って幕屋を作るように、4回命じられました。モーセの幕屋の7つの家具は、十字架の形におかれました。その一つ一つがイエス・キリストの身丈の一部を表しています。

しかしキリストは、すでに成就したすばらしい事がらの大祭司として来られ、手で造った物でない、言い替えれば、この造られた物とは違った、さらに偉大

な、さらに完全な幕屋を造り、(ヘブル9:11)

聖霊が、祝福された乙女に臨むことによって宿った体、つまり幕屋は、新しい素材、新しい形の建物であり、地上の構造物とは比べものにならないくらい優れたものでした。しかしながら、モーセの幕屋は、神の御子の身丈の神聖な影、つまり輪郭であったので、私たちが、イエス・キリストの完全な身丈にまで成長するための方法を、私たちの心に啓示する導きの光となります。

ついに、私たちがみな、信仰の一致と神の御子に関する知識の一致とに達し、完全におとなになって、キリストの満ち満ちた身丈にまで達するためです。

(エペソ4:13)

幕屋は、神の御子の型であり、そこには、知恵と知識のすべての宝が隠されているので、他のすべての聖句における知恵と知識が、それと完全に一致することを期待してもよいのです。聖書全体が、主イエス・キリストの美しい啓示なのです。この真理のゆえに、神は、聖書のすべてが有益であるといえるのです。

聖書はすべて、神の靈感によるもので、教えと戒めと矯正と義の訓練とのために有益です。それは、神の人が、すべての良い働きのためにふさわしい十分に整えられた者となるためです。(第二テモテ3:16, 17)

この本の目的は、私たちの三重構造に生じた欠陥について検証することです。また、神のみことばの豊かな倉に目を向けて、神の栄光に満ちた豊かさを見つけ、その結果、新しい都で主と共にあり、主の御臨在の輝かしさを楽しみ、神の栄光がもつ至上の權威を、永遠に楽しむことができるように整えられることです。

第 I 部

人間の体

人間の三重構造

第1章

体の5つの感覚

5つの感覚は、人間という車輪の生きたスポークであり、体、魂、霊を貫いて、ハブにまで達しています。体から始めましょう。人間の体は、5つの感覚を持っています。すなわち、視覚、聴覚、味覚、臭覚、そして触覚です。視覚のスポークが体を通ったとき、それは目と呼ばれます。聴覚のスポークが体を通ったとき、それは耳と呼ばれます。味覚のスポークは口であり、臭覚のスポークは鼻です。体の中の触覚は、神経の末端ですが、ここでは触覚のシンボルとして手を用います。

神は、霊、魂、そして体を貫く5つの感覚をもつ**人間の三重構造**を聖めるために、備えをされました。それは、人間を継続的な勝利に導くためです。主の貴い御名を賛美します。

平和の神ご自身が、あなたがたを全く聖なるものとしてくださいますように。

主イエス・キリストの来臨のとき、責められるところのないように、あなたがたの霊、たましい、からだを完全に守られますように。(第一テサロニケ 5:23)

人間は、全体、すなわち体と魂と霊を聖められなければなりません。聖めには、次の3つの意味があります。(1) 潔くする、清める、(2) 取っておく、献げる、(3) いけにえとして捧げる。

イエスの血潮には、私たちが過去の罪から聖めるだけでなく、世と肉から私たちが聖別し、イエスのために自分を完全に献げる力があります。

ヘブル書9章に、旧約聖書の幕屋は、第二の幕屋であるイエス・キリストの比喻であると書いてあります。従って、その配列といけにえは、私たちにとって、霊的に特別な意味を持っています。旧約聖書の幕屋にある庭の中に、聖めのために3つのものがあり

ます。青銅の祭壇には、動物の血があり、これは神の小羊であるイエス・キリストの血潮を表しています。ここには、また聖霊の象徴である火があります。洗盤には、主イエス・キリストの死を象徴する水があり、また主の御名(性質)と復活のいのちがあります。これら3つのすべてが聖めの力を持っています。

I. 体の聖め

A. 血潮による

神が、聖めのために最初に備えたものは、イエス・キリストの血潮でした。「ですから、イエスも、ご自分の血によって民を聖なるものとするために、門の外で苦しみを受けられました。」(ヘブル 13:12) イエスの血潮には、聖めの力があるのですから、私たちはその血潮を祈り求めることができます。私たちが信仰によって祈り求めたときに、この貴い血潮の純粋な聖めの効果を体験します。

私たちが、イエスの血潮の聖めの力を求めるならば、「宿営の外」に行くことを強いられることも覚えておいてください。そこは、呪われた人や殺人者が石打にされたところであり、らい病人の場所、つまり汚れた場所でした。「ですから、私たちは、キリストのはずかしめを身に負って、宿営の外に出て、みもとに行こうではありませんか。」(ヘブル 13:13) イエスが、十字架につかれたとき、「宿営の外」に行かれ、私たちの罪の恥と叱責を負われました。イエスは、私たちの**三重構造**を聖別するために、何と大きな代価を払われたのでしょう。ですから、私たちもイエスの血潮を見つけ、その聖めの力を用いるために、「宿営の外」に行かなければなりません。

B. 火による

第二に、青銅の祭壇には、火によって表される聖霊の聖めの力を見ることができます。

しかし、あなたがたのことについては、私たちはいつでも神に感謝しなければなりません。主に愛されている兄弟たち。神は、御霊による聖めと、真理による信仰によって、あなたがたを、初めから救いにお選びになったからです。

(第二テサロニケ 2:13)